

共通論題

関西圏における空港の現状とコロナ禍による役割の変化

Current status of airports in the Kansai region and changes in the position due to the COVID-19 pandemic

金 仙淑¹

Sunsook KIM (Doshisha University)

2020年3月11日、世界保健機関（World Health Organization; WHO）による新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミック（Pandemic）が宣言され、4月7日には新型インフルエンザ等対策特別措置法（平成24年法律第31号）第32条第1項の規定に基づき、第1次緊急事態宣言が発出された。世界的規模の集団発生が報告された重症急性呼吸器症候群（SARS-CoV）は、約8ヶ月で終息宣言が出され、2003年度の世界国際航空貨物は右肩上がりの輸送実績が続いた。その他、ケロシンなどの燃料価格の変動がもたらす航空貨物運賃の変動にもかかわらず、多数の実証分析から2001年のイラク戦争、2009年の金融危機および2011年の東日本大震災による航空貨物需要への影響は一定ではない。

本報告は、関西圏における国際物流機能を関西圏の空港を対象にインターモーダルリズムの視点から考察して、潜在的な発展方向に関する議論の材料を提供することを目的とする。インターモーダルリズム

とは、複数の交通機関の組合せではなく、継ぎ目のない交通体系を形成することに主案がおかれている榊原（他）（1999）の定義に従い、インターモーダルリズムの視点とは、インターモーダル施設の改善の視点から現状を把握することを意味する。

国際航空貨物は金額ベースで2018年世界貿易の35%を占める一方で、日本の航空貨物は成田国際空港（NRT）を中心に展開する中、航空貨物の取扱量は金額ベースで貿易の23%にとどまっていた。しかし、2020年上半期まで、首都圏における羽田国際空港、関西圏においても関西国際空港（KIX）が全国的なシェアを伸ばしていたのが現状である。国際貨物輸送の拡大と国際商取引の発展を考えれば、さらなる航空貨物の効率的なプロセスの導入が求められる。

中日韓3国の航空貨物市場における国際航空貨物部門の役割は大きく、旅客機で旅客輸送と貨物輸送を並行しているため、既存航空会社と新規航空会社が競争する時、輸送サービスの個性が区別しにく

¹ 同志社大学経済学部嘱託講師、京都大学経済学研究科非常勤研究員兼職

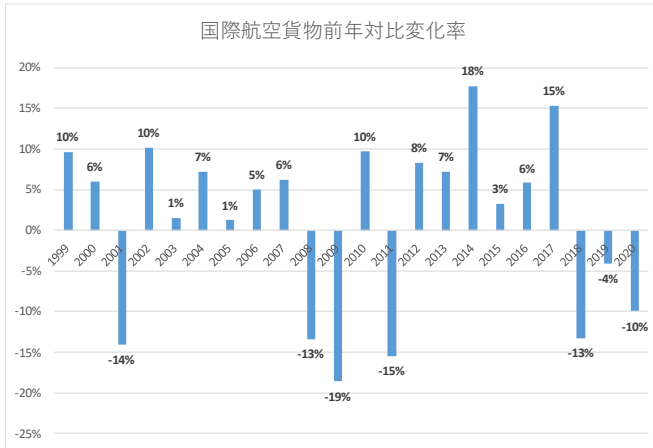


図 1 国際航空貨物輸送実績（トンキロ）

出典：国際航空累年表により作成。

い特性をもつ航空市場である。また、KIX の国際宅配便貨物の主な相手国地域はアジア地域であり、アジアの航空市場はヨーロッパやオセアニア地域のような単一航空市場への進展を交渉しつつ、国際航空ネットワークの強化を図ってきた。コロナ禍の中でも国際航空貨物輸送は空港と地域を支えている。特に、中国方面国際航空貨物は 2020 年 7 月に同年度 1 月から 3 月までの輸送実績の平均値を超えて、2020 年 12 月には全地域に拡大した。

国際空港評議会（Airport Council International ;ACI）は、Airport Health Accreditation(AHA)プログラムを導入し、航空物流の回復に向かって対応するなど、空港の貨物容量増加による航空産業の回復を予想しているため、ACI はコロナワクチン流通の経験を通してより効率的な空港運営を図るほか、空港の役割に注目している。また、航空会社間のアライアンスは加盟航空会社間で戦略上の技術提供と貢献が持続的に行われ、対象となる乗務員の教育、ケータリングサービス、燃料供給、整備、発券、地上ハンドリングは空港の多様な条件を反映してい

ると考えられる。長期的には旅客運送を含む国際物流全体を対象に空港の役割に変化の可能性がある。

航空貨物需要への影響は多くの実証分析により一定ではないが、航空貨物需要に関する回復は肯定的な予測が多数である。コロナ禍の航空物流機能についてインターモーダリズムの視点から関西圏の空港を対象に考察して、潜在的な発展方向にむけた課題を議論する。

参考文献

- (1) 榊原 胖夫(他)著(1999) 『インターモーダリズム』 日本交通政策研究会研究双書 14、勁草書房。
- (2) 加藤一誠(ほか)編著(2021) 『航空・空港政策の展望——アフターコロナを見据えて——』 関西空港調査会監修、中央経済社。
- (3) 金仙淑(2018) 「就航航空会社のアライアンスの構成でみる関西国際空港のネットワーク競争力に関する考察」 『港湾経済研究』 No.56、pp.101-108、日本港湾経済学会。
- (3) 金仙淑(2019) 「関西国際空港を例とした国際商取引における航空貨物の役割と課題」、『KANSAI 空港レビュー』 No.484、pp.25-27、(財) 関西空港調査会(www.kar.or.jp)。
- (4) 金仙淑(2021) 「GA 航空を活用した地方空港の運営——韓国の事例——」、『KANSAI 空港レビュー』 No.484、pp.26-30、(財) 関西空港調査会(www.kar.or.jp)。